

平成31年度 後期学校評価アンケートの集計結果について

児童、保護者、教職員を対象に実施しました「後期学校評価アンケート」の結果につきましてご報告いたします。皆様のご意見を大切にしながら、より良い学校づくりに努めてまいります。

【集計結果と見方】

- ・本アンケートでは、各項目において、「よくできている」「できている」「あまりできていない」「できていない」の4段階で回答を求めました。下記の数値は、その内、「よくできている」「できている」と回答した数値の合計です。

	項 目	児 童	保 護 者	教 職 員
1	学校では一人一人の子どもが大切にされている。	93%	95%	100%
2	一人一人が友だちを大切にしている。	95%	98%	100%
3	授業がよくわかる。	90%	86%	100%
4	けじめをつけて生活している。	87%	90%	100%
5	家庭学習をきちんとしている。	89%	88%	100%
6	友だちと仲良くしている。	96%	100%	100%
7	すすんであいさつしている。	97%	95%	100%
8	ルールやマナーを守っている。	94%	100%	100%
9	学校で困ったことがあれば、教職員に相談することができる。	72%	91%	100%
10	いろいろなことに前向きに取り組んでいる。	93%	93%	100%
11	早寝・早起きをしている。	74%	85%	91%
12	休みの日には、外で遊んだり散歩したりしている。	82%	67%	36%
13	地域行事などに積極的に参加している。	87%	56%	27%

【集計結果から】

学校生活全体を通して子ども一人一人が大切にされているかどうか、また、友達と仲良くしているかどうかについては、概ねできているとの回答を得ました。特別の教科 道徳や、人権教育での指導、各教科での指導、日々の生徒指導などの成果が出たのではないかと思います。教職員全体で子どもの様子を日々丁寧に観察し、気になることがあれば素早く情報共有してきました。今後も継続していきたいと考えています。

また、すすんで挨拶したり、ルールやマナーを守ったりすることについても意識が高く、地域の方々からも「元気にあいさつしますね」「お行儀がいいですね」と、お褒めの言葉をいただいています。ご家庭でのお声かけや、丁寧に躰をしていただいている成果だと思います。

今後の課題は、子どもたちが困ったときに気軽に教職員に相談できる関係づくりです。子どもと担任が一对一で話す機会の「あのねタイム」などを活用し、よりよい関係をつくっていきたいと考えます。また、早寝早起きが高学年になるほどできなくなる傾向にあります。保健指導を充実し、さらに保健だよりなどを通して保護者の皆様のご理解もいただきながら、その改善に努めていきたいと思っています。